

教科	外国語活動・外国語（小）
主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント	
<p>(1) 単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要である。主体的・対話的で深い学びは、必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではない。</p> <p>(2) 特に「深い学び」の視点に関して、各教科等の学びの深まりの鍵となるのが「見方・考え方」である。各教科等の特性に応じた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」を、習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせることを通じて、より質の高い深い学びにつなげることが重要である。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」とは、「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」であると考えられる。</p> </div>	

教科	外国語（中）
主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント	
<p>(1) 単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要である。主体的・対話的で深い学びは、必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではない。</p> <p>(2) 特に「深い学び」の視点に関して、各教科等の学びの深まりの鍵となるのが「見方・考え方」である。各教科等の特性に応じた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」を、習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせることを通じて、より質の高い深い学びにつなげることが重要である。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」とは、「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」であると考えられる。</p> </div>	

出典：福島県教育委員会「令和4年度 福島県小・中学校教育課程研究協議会資料」

# 「深い学び」を具現する授業デザイン例 外国語活動・外国語(小)







## 学習指導要領における領域・内容

小学校〔第5学年及び6学年〕〔思考力、判断力、表現力等〕

(2) ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。(関連領域「聞くこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」)

## 本時のねらい

身近な人や地域の人を英語で伝え合う活動を通して、「学校や地域のことをもっと知りたい」というALTの先生のために情報を整理して紹介することができる。

授業アイデア例	学習者の視点	授業者の視点
 <p>あ、2組の先生！ ピアノが上手だから・・・ She can play the piano.</p>	 <p>Look at these pictures. Who is this woman? What can she do? Who is this man? What can he do?</p>	 <p>That's right! She can play the piano well. How about 校長先生? He is our principal. He can play badminton.</p>
 <p>「2組の先生といえば、ピアノ」だけど、 校長先生のことは意外だったなあ。</p>	 <p>I want to know the people in this school and this town. Please tell me more.</p>	 <p>ALTの先生の生活がもっと楽しくなるように、 身近な人や地域の人を紹介しよう。</p>
<p>「校長先生」は英語で、 pri... prin...</p>	<p>Pincipal. He is our principal.</p>	<p>※ この段階では正確な英語は求めず、 誰にどんな内容を伝えるかを意識させる。</p>
<p>体育の授業にも来てくれたよね。He can swim.</p>	<p>校長先生のこと、もっと伝えて みない？ 毎日会う先生だし。</p>	<p>Let's share your ideas with the classmates.</p>
<p>そういえばALTの先生は、 朝食はパンって言ってたね。</p>	<p>fastとかwellとか使う？ クロール速かったよね！</p>	<p>Oh, really? New information for me. I'll talk to him later. Thank you.</p>
<p>Mr. Suzuki is our principal. He can swim well. He can run fast.</p>	<p>近くのパン屋さんを紹介すると 喜んでくれるかも。</p>	<p>Interesting! I want to go there. I want to eat hot dogs. Thank you.</p>
<p>自分が伝えたことが相手の役に 立てたらうれしいな。ALTの先生が 知りたいことをもっとさぐってみよう！</p>	<p>Ms. Kato is a baker. She can bake bread well. I like hot dogs. Yummy!</p>	<p>友達が使っていた表現を、自分の発表の 参考にできた。 ALTの先生に、自分の地域のことを もっと伝えたい。</p>

## 本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問

□ 「ALTの先生の生活がもっと楽しくなるように」という伝える目的を提示する。このことにより、相手意識と学習経験を駆使し、「見方・考え方」を働かせることで、考えの広がりや深まりが期待できる。他教科等との関連や、他者や地域社会とつながるグローバルな視点で単元構想を進めたい。(視点P→視点⑫)